

斎藤宇一郎とほ場整備 ～斎藤翁生誕150年に想う～

公益財団法人 斎藤宇一郎記念会
会長 佐藤 範義

1

斎藤宇一郎とは・・・



1866(慶応2年)～1926(大正15年)
由利郡平沢村(にかほ市平沢)生まれ

2

斎藤宇一郎とは・・・



- 斎藤宇一郎記念会では...
「農村指導の巨星」
- 秋田県立博物館「秋田の先覚記念館」では...
「農業改良事業の推進者」
「米の秋田の基礎をつくる」
- 種苗交換会記録では...
「秋田の三大農聖人」
「農業の神」

3

斎藤宇一郎とは・・・

他にも...

- ・ 衆議院議員(8期23年)
- ・ 鉄道「横荘線」初代社長
- ・ 平沢町長
- ・ 秋田県農会副会長
- ・ 種苗交換会会頭(16年間)
- ・ 秋田県教育会長

※TDK創始者の斎藤憲三氏は宇一郎の三男

4

乾田馬耕の普及



湿田
(~明治10年代)

常に湛水状態



- 土壌の酸素不足
- 非効率的な作業

5

乾田馬耕の普及



庄内から招いた馬耕教師 斎藤 源之助(1865~1943)

6

乾田馬耕の普及



馬耕講習会

7



耕地整理の推進

耕地整理

乾田馬耕の普及につれて、従来のせまい田んぼでは効率が悪いくわがわかってくると耕地整理が必要となってきました。

小出村では明治35、6年ころ有志が相談して計画しましたが、日露戦争が始まったり、利害関係でなかなか意見がまとまらず宇一郎が調停役になり40年に耕地整理組合が発足し、宇一郎は頼まれて組合長になります。

小出村の約320ヘクタールの耕地整理は16年後の大正12年に完成しますが、その間、宇一郎は暇をみては弁当持参で8キロの道を工事現場に通い続けました。

明治42年、5百数ヘクタールに及ぶ平沢、院内、杉山の3カ町村連合耕地整理組合や、大正3年、組合に入らなかった地域で組織する院内村耕地整理組合の組合長も努めました。

この地域の耕地整理は、宇一郎の指導力に負うところが大きく、関係地域にはそれに感謝する多くの記念碑が建立されています。



耕地整理の記録

8

耕地整理の推進

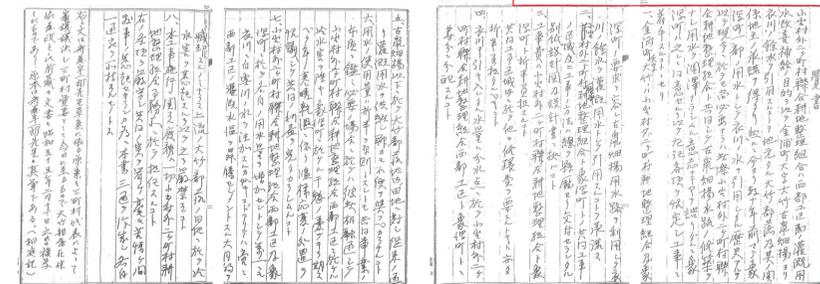


当時の耕地整理図
(平沢、院内地域等)

耕地整理の推進

最近発見された当時の覚書の写し

斎藤宇一郎の人柄と熱意が伝わる



(覚書を交わすに至った経緯)

- 小出地区は、ほ場面積320haに及ぶ地区である。
- そのうちの70haにかんがいする用水の取水源は、象潟町にあり、隣接する金浦町と合わせ、象潟町、金浦町、小出地区の3者で協議を進めなければならず、協議は難航していた。
- そこで、斎藤宇一郎が仲介人となり、3者で覚書を交わし、明治35年に着工した工事は、大正12年に完成することができた。

各地に残る耕地整理記念碑



農業三是



農業三是

齋藤宇一郎の顕彰（地元での顕彰）

平沢小学校 先生を讃へる歌

齋藤宇一郎先生を讃へる歌
 作詞：大黒 富治 作曲：小松 耕輔
 編曲：佐藤倉太郎
 歌唱：平沢小学6年生児童一同



企画：平沢小学校
 制作：SWEETミュージック・クリエイト 2011年3月

齋藤宇一郎先生を讃へる歌
 歌 唱 平沢小学6年生児童一同
 作 詞 大黒 富治
 作 曲 小松 耕輔

一 仰ぐ鳥海、いや高く日本海
 仁賀保とくこゝろおどる
 人をはりたふさるる
 人を愛せぬる 齋藤先生

二 ゆたかな肥後、のしに北国に
 ゆたかな肥後、のしに北国に
 香の大地に新米を
 香の大地に新米を
 香の大地に新米を

三 今己が道に身をまかせ
 今己が道に身をまかせ
 今己が道に身をまかせ

齋藤宇一郎の顕彰（地元での顕彰）

仁賀保高校情報メディア科の生徒が作成したDVDと紙芝居




齋藤宇一郎ものがたり
 制作 秋田県立仁賀保高等学校 情報メディア科
 著作 公益財団法人 齋藤宇一郎記念会

齋藤宇一郎の一生を貫く精神

功は人に譲る
 責任は己が負ふ

齋藤宇一郎



齋藤神社と(財)齋藤宇一郎記念会




御清聴ありがとうございました